

親子で田植え

米栽培体験学習

泥まみれで昔ながらの手植えに挑戦

5月30日(土)、金井島の田んぼで県内の都市部に住む親子など31組106人が、農業委員や農協女性部の手ほどきを受けながら田植えに挑戦しました。

参加者は、はだしになり横一列に並んで、慣れない手つきで泥に足を取られながらキヌヒカリの苗を植えました。参加者からは「田植えは私も子どもも初めての体験でしたが、いっしょに参加できてよかった」という声が聞かれました。秋には鎌を使った手作業での稲刈りや収穫祭も予定されています。

産業振興課 ☎84-0317



米づくりの大変さを楽しく体験

地域の歴史を知り、後世に伝える

地質はぎ取り標本の寄贈



右から町南部地区土地区画整理組合の草柳副理事長、井上理事長、露木開成町長

5月22日(金)、瀬戸屋敷で開成町南部地区土地区画整理組合(井上夫二男理事長)から開成町に「地質はぎ取り標本」が寄贈されました。この標本は、富士山の宝永噴火前の大地の様子とその後200年にわたって何度も襲った洪水などの状況を後世に伝えていくために、区画整理地内の地層から作成されたものです。

このような地域の歴史を学習することで、地域社会の誇りと愛情、郷土愛をはぐくむことにつながることが期待されます。

町では今後、瀬戸屋敷での展示や小学校の学習に積極的に活用します。

教育総務課 ☎84-0324

※この標本は、開成町南部地区土地区画整理組合が日本大学文理学部、神奈川県温泉地学研究所、足柄の歴史再発見クラブなどの協力により作成しました。

恒例!

ロング手巻き寿司

今年は、プチではなく長〜く10m!



できあがって思わずにっこり

5月31日(日)、あじさい公園で町婦人会主催、毎年恒例の「ロング手巻き寿司づくり」が行われ、約50人が参加しました。昨年は、プチロング手巻き寿司として「きれいに」つくることを意識したものでしたが、今年は、その名のとおり長くつくることにこだわり、1本10mのロング手巻き寿司に挑戦しました。「ご飯の量が多すぎるとうまく巻けません」という婦人会による見本の実演をみて、本番は、参加者全員が真剣な表情で挑戦していました。

できあがると「せーの」のかけ声で持ち上げ、思わず笑顔がこぼれていました。

完成後、みんなで、初夏の田園風景を背においしくお寿司をほおぼっていました。

生涯学習課 ☎82-5221